

第一回 レポート

本を使って自己紹介&
ホンがマチでできること

日時：令和3年9月25日

時間：13時30分-15時30分

参加者：15名

本を扉にして
まちへ出よう

～ホン×マチの新しいカタチ～



「仲間づくり」「合意形成」、まちづくりには大切ですよね。でも、そんな言葉に少し尻込みしてしまう方もみえます。

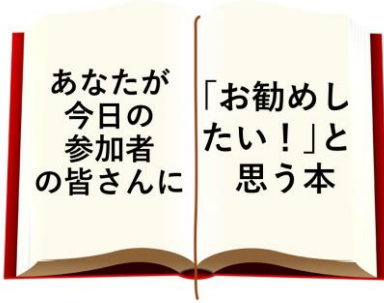
そんなときに、本を使ったまちづくり活動があることを知りました。もしかして「本」の力を借りたら、人って一歩を踏み出しやすいの？人と関わり、話をするキッカケが生まれやすいの？そんな発想から企画されたこの講座。さて、連続5回の講座、どのように進んでいくでしょうか…始まります！

オンライン会場の様子
チーム ホン×マチの面々



時間(目安)	内容
13:30-13:35	導入あいさつ
13:35-13:50	私の一冊 自己紹介(アイスブレイク)
13:50-14:20	グループワーク、その後全体で共有
14:20-14:25	休憩
14:25-14:55	講義 ～まちづくりって何だろう～
14:55-15:25	グループワーク、その後全体で共有
15:25-15:30	次回のご案内、エンディング

アイスブレイク 本日のお題



この講座では、毎回お題の本を持ち寄り、ご紹介させていただきます。

一人30秒という時間内で、スピーディに。

「わ、面白そう」「へえ知らなかった」と、次から次へと興味の湧く本が。

ここではそれが何よりの自己紹介。

講座の間、「あ、あの本を持ってきてた人だな！」と印象に残っているのです。

そして、その本だけではなく、それを紹介してくれたその人にも、

「どうしてこの本を?」「わたしと似てるかも?!」など、

興味や親近感が湧きました。本の力って、すごいですね。

例えばこんな本が・・・! 「小さな本の大きな世界」「キリン解剖記」「宗名臣言行録」

グループワーク1

この講座の魅力。それは「受講者の皆さんが積極的なところ」!!

お申込時に、動機の欄に記入されたことが、皆さん素敵で、

バラエティに富んでいる。

そこで、それを皆で共有したら、みんなの「ホン×マチ」が膨らむのでは?

と、このようなテーマでGW。

前向きな皆さんとのGWに、

チームホン×マチの

ファシリテーターも、

掘り下げたいお話し

満載でした。

ブレイクアールーム
「この講座の
どういう点に
興味があって
参加しましたか」



ホン×マチ

ワーク1 「講座のどこにに興味があって参加しましたか？」(約20分)

読書は本来内省的なものだと思いますが、まちづくりと、どう掛け合いがあるか、とても興味を抱きました。北区役所でチラシを見つけた。

図書館のヘビーユーザー一年に100冊くらい本は読むのですが、あまりまちづくりにつながっているとは想像もしなかったの、どうつながるんだろうという点に興味がありました。

まちづくりは人によってとらえ方違うが、私のメインテーマである、ひとひとつながる場作りに、本はひとをつなぐ大きな力を持っていると思います。飲食しながらつながるが有効な手立てだと思います。

年内に孫が生まれる。孫に引き継いでいきたい本。本は世代を超えて伝える力がある。第4回アイデアをカタチにして、の所かな。私自身もやてみたい企画がある為です。

例えばこんな話が・・・!

「シニアと子供が仲良くなる活動」

「本が好き、地元が好き、二つつつくとどうなるか興味を」

「他の都市で見た「本のある居場所」をやってみたい」

講義

「まちづくりって何だろう」
ホン×マチの新しいカタチ



まちづくりひと講座
本を際にしてまちへ出よう 連続講座1回目

「ホン×マチ」の新しいカタチ
まちづくりとホンの関係
(話題提供)

講師
本を通して人と人が会話し交流し、そこから生まれる人との関係
まちとの関係づくりの可能性を探る。経験、よつとつと

【まちづくりの推進している自治体「ホン」の関係を紹介させていただきます】

2024年9月2日(土)
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
筒井康史

いよいよ本日の講義。この連続講座では、チームホン×マチのメンバーが交代で講師を務めます。本日は、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)で、様々なまちづくりに関わってきたご経験のある筒井康史さんです。週末は、地域のサッカー少年団でコーチ。好きなことで地域貢献!してみえます。

ご自身が携わった、公共施設整備やシティプロモーションの事例では、「え?大きな話…」と思いきや、そこから「小さな一歩は一人でも始められるんだよ、そこから世界が広がるよ」と、身の丈から始めればいいと感じさせてくれます。

図書館・ホンとまちとの関係が、昭和から令和へと移り変わる傾向分析も興味深い!

情報源だった本・図書館は、今ではくつろぎ空間・交流スペースへとその意義も変化していったんですね。

グループワーク2

ブレイクアールーム



- ・ 講師の話の感想
- ・ やってみたいと思ったこと

ホン×マチ

例えばこんな話が・・・！
「小中学生が、かつて読み聞かせてもらったものを幼児に伝える」
「犯罪の防止にもなる活動」
「主役を設定して、大切な人のためにやりたい」
「アイデア次第でなんでもできそう！
まずは頭を柔らかくしよう」

講義後のグループワークでは、筒井さんの話を受けて、何かやりたい思いがあふれた様子の皆さん。口々に、アイデアが出ます。聞いてみるとそれは、本への思いであると同時に、まちへの思い。そして、まちに住む人への思い。皆さん、思い思いの「ホン×マチ」が、既に心に芽生えていました。

意見交換「講師の話題提供についてのご感想ややってみたいと思ったこと等」（約20分）

- ▶ 筒井さんのお話
 - ・ 知らないことあった。津島のまちづくり活動知らなかった
 - ・ 津島の事例、作品募集コンテストたのしそう。
 - ・ 働いていると平日やることはしらない
- ▶ やってみたいと思ったこと
 - ・ 古本市。本にまつわる話ができるのが楽しい。
 - ・ ブックカフェ、名東本通。ブックカフェのマップ作りた
 - ・ 本が好きなのは、本がたかさんになる。古本として売ると1冊10円！！本の価値を分かってくれる人に差し上げたい。
 - ・ 古本市では売ったりするが、ただでも、価値を分かってくれる人に本をあげたい。
 - ・ 自分が参加する側になって、広げていきたい。
 - ・ YWCAでリサイクルのお手伝いしてるのを見て、何とかならなと思った。
 - ・ 気分にあった本の処方、こんな気分時はこれ。落ち込んでいる時はコレとか。
 - ・ 中日新聞で300文字で投稿コーナーがある。現代の民話づくりをしてみたい。現代版作り話でも100回話すと定着する。緑区にあるお月見どろぼうの話題など。



その他の一幕

筒井さんの話を「深堀り」



ワイドカメラで講師陣がみんな映ります。

ファシリからGWを共有。中には発表をかってでくれる受講者も！

次回へ向けて

あっという間の二時間でした。
初めてのオンラインまちづくりびと講座で、
運営スタッフもうまくいくか気をもんでいましたが、
何とか予定通り、エンディングまで来ました。ホッ。

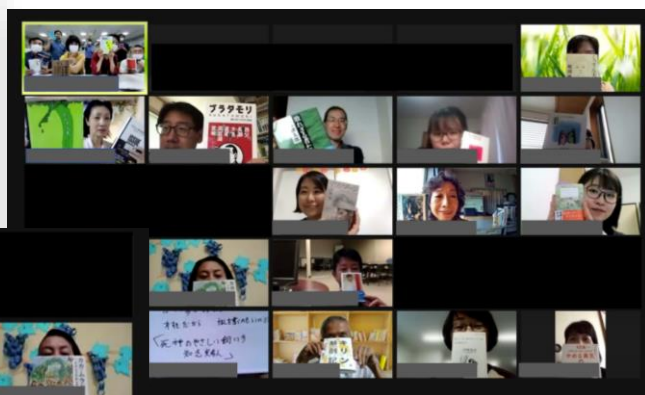
次回の講師から、二回目の予告と「宿題」が。
「宿題なんて何十年ぶり〜」という声も聞こえてきますが、
そこは「ホン×マチ」実践への一歩として、
楽しんで取り組みましょ♪

最後は、持ち寄った本を持つての集合写真！
本を持って、良い笑顔です。次回もみんなで
「ホン×マチ」の世界を深めていきたいですね。



宿題

「本を使った
まちづくり」の
事例をさがそう！



振り返りシートより

- ・本の自己紹介、**個性の一端**がわかり楽しかった
- ・今まで知らなかった、本とまちを繋ぐ活動がたくさんあることを知れた
- ・本とまちが好きな人が集まり **熱い思い**を 沢山聞くことができた
- ・読書は、自分の中だけで完結する個人的な経験だと思っていたが、**本を通してまちと繋がれる**ことを知れた
- ・**学生さんから大先輩まで** 幅広く色々な方が参加されてみて、多種多様で面白かった

- ・まちの中に「本を楽しめる、居心地のいい場所」を増やす方法を考えていきたい
- ・GWでご一緒頂いた方は、活動内容や目指していることが分かり、**親近感**がわいた
- ・「本」というツールが「**人と人**」→「**人とまち**」→「**人と人生**」をつなげて、**大きな輪**になり、絆になっていくのが実感できて、ワクワクします
- ・ZOOMを背景に、参加者の皆さんの**個性が垣間見えて**楽しかった
- ・お勧めの本は、絵本など読みやすい本も多く、**是非読んでみたい**
- ・他の班の**アイディア**も凄くて、**実際どんな話合いがされたのか聞いてみたい**と思った